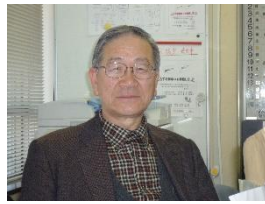




平成18年4月に、大先輩からの誘いでNPO法人一万人市民委員会宮城の一員として活動に参加することとなった。



第二の職場も退職間近であったので、家でゴロゴロして邪魔者扱いは受けたくないと思っていた時だったので、正に渡りに船であった。

第二の職場を卒業した後の私の人生の時間配分は、自分の時間30%、妻を中心とした家族の時間30%、他人のための活動時間30%、調整用10%と大まかに考えていた。

一週間の配分は、土日が自分の時間、月水が妻の送迎等の付き合いの時間、火木金が一万人関係の時間となっている。これで、当初考えていたボランティア活動が出来ると思った。

ボランティア活動の一環としての「介護サービス情報の公表調査員」として丁度10年、どうにか他人のための活動をやっている、と言う自己満足をしていた。福祉の知識や経験を持ち合わせていない自分に何が出来んだろう、との疑問を持ちながらも「継続は力なり」との思いで10年が経った。

なんだかんだと言って、そんなパターンの繰り返して10年が経った。それでは、俗に言う十年選手はどう評価されているのか。

プロ野球の世界では、かつて「十年選手制度」と言えるものがあった。10年以上同一球団に在籍した選手に対し「移籍の自由」が与えられ、A級選手と呼ばれていた。現在は、一定のシーズン以上（原則8シーズン）在籍した選手が、いずれの球団とも選手契約を締結出来る権利を持つ「FA宣言」と所

## 十年選手のつぶやき

副代表理事 箕輪 元三

属球団の許可を得て入札によって米大リーグに移籍出来る「ポストイングシステム」の制度がある。

単に十年選手と言っても、伊達に年だけ食ってまともな仕事が出来ない、と言われかねない場合もある。

どこの世界でも当然のごとく技量が伴っていなければ、色々な制度の活用も困難でありどこからも声が掛からないと言った場合もある。

継続は力なりと大見得を切ってもただ馬齢を重ねただけとの厳しい評価もある。

後期高齢者の領域に入った私は、どこに活路を見出して進むべきか。

施設等にお邪魔した時に、ビックリさせられる入居者にお会いする時がある。施設側でも、誇らしげに「あの方は100歳なんですよ」と言う。趣味を活かした作品が、他の入居者の目を楽しませている。また、食事の準備に積極的に参加している。というようなウルトラな大先輩を見ると、十年選手に拘って当面の目標は達成した等と言ってる場合か、福祉サービスは満足出来るレベルにあると言えるのか、自分のやれることはまだあるのではないか、等と自問自答しているが、本音としてはウルトラの大先輩に申し訳ないが、私の人生は100歳までまだ四半世紀もあるんだ、やりたい事をやれる時間はまだたっぷりあるんだ、とつつぶやいてしまう。

# \*\*\* 介護報酬が改定されました \*\*\*

利用者負担の増・事業所収入の増

平成9年12月に介護保険法が制定され、平成12年4月1日から始まり、平成29年度まで8回の改定が行われてきました。

今回(平成30年度)は団塊世代が75歳以上になる平成37年を背景にした、高齢化が進み、要介護者の増加等による介護ニーズの増大に伴う介護費用の抑制を考慮し、高齢者の自立支援や重度化防止、診療報酬との同

時改定を踏まえた終末期の高齢者の看取り対応など医療と介護の連携を強化、市町村が生活援助のケアプランの検証する仕組みを導入など、平成30年度介護報酬改定により、誰でも状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、質が高く効率的な介護の提供体制を整備・推進することとしており、今回の介護報酬全体の改定率は0.54%の増加となっている。

## 平成30年度の介護報酬改定のポイント

### ①地域包括ケアシステムの推進

中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備する

### ②自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを実現する

### ③多様な人材の確保と生産性の向上

人材の有効活用・機能分化、ロボット技術等を用いた負担軽減、各種基準の緩和等を通じた効率化を推進する

### ④介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続性の確保

介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保する

## 講演会開催のお知らせ

平成30年度介護保険報酬改定についての講演会を開催します

＊講師

宮城県保健福祉部長寿社会政策課介護保険指導班

＊日時

平成30年5月18日(金)13時30分

＊会場

仙台市生涯学習支援センター  
第2セミナー室

＊申込先

一万人市民委員会事務局  
電話 022-293-8158

## 介護報酬の主な改定事項

### 【全般的】

- ◎居宅サービス・施設サービス・地域密着型サービスの提供内容を踏まえ、基本報酬の見直しや各種加算の見直しが行われ、高齢者の自立支援や重度化防止に対するサービスが手厚くした改定となっている。

### 【訪問介護】

- ◎訪問介護のうち、移動支援や入浴支援等の「身体介護中心型報酬」は引き上げ、掃除や家事等の「生活援助中心型報酬」は引き下げ

### 【訪問看護】

- ◎サービス提供内容を踏まえた訪問看護の報酬体系の見直し

- ・ターミナルケア加算の算定者が年5名以上の場合は、「訪問看護体制強化加算区分」を新設

### 【認知症対応型共同生活介護】

- ◎看護職員を手厚く配置しているグループホームに対する「医療連携体制加算区分」を新設

### 【介護老人福祉施設】

- ◎複数の医師を配置する等の体制を整備し、配置医師が施設の求めに応じ、早朝、夜間、深夜に施設を訪問し診療を行った場合の「配置医師緊急時対応加算」を新設

- ◎配置医師緊急時対応加算の算定に係る体制を整備し、さらに施設内で実際に看取った場合の「看取り介護加算区分」を新設

- ◎褥瘡(床ずれ)の発生予防のための管理や排泄に介護を要する利用者への支援体制の強化
  - ・褥瘡(床ずれ)発生を予防するため、褥瘡の発生と関連の強い項目について、定期的な評価を実施し、計画的に支援・管理することに対し、「褥瘡マネジメント加算」を新設

#### 【居宅介護支援】

- ◎ターミナル期に頻回に利用者の状態変化の把握等を行い、主治医等や居宅サービス事業者へ情報提供するケアマネ事業所に対して、「ターミナルケアマネジメント加算」を新設
- ◎ケアマネ事業所の人材育成の取組を促進するため、管理者の要件を見直し、「主任ケアマネジャー」であることを管理者の要件とする。(3年間の経過措置期間を設ける)

#### 【小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護・特定施設入居者生活介護】

- ◎若年性認知症の人やその家族に対する支援を促進するため、若年性認知症の人を受け入れ、本人や家族の希望を踏まえた介護サービスを評価する加算として、「若年性認知症利用者受入加算」を新設

#### 【通所介護】

- ◎自立支援・重度化防止の観点から、一定期間内に当該事業所を利用した者のうち、ADL(日常生活動作)の維持または改善の度合いが一定水準を超えた場合、「ADL維持等加算」を新設

#### 【各種施設系サービス】

- ◎排泄障害等のため、排泄に介護を要する利用者の「排尿」または「排便」が「全介助」から「一部介助」以上に、または「一部介助」から「見守り等」以上に改善した場合、「排せつ支援加算」を新設

### 【介護保険制度の持続可能性の確保(介護保険法)】

◎平成27年8月に2割負担に引き上げられて以来の改定で、2割負担者のうち特に所得の高い層については、「平成30年8月から介護サービスの利用者負担割合を3割」に引き上げられる。

ただし、平成30年8月から高額介護サービスの自己負担限度額が44,400円に引き上げられることから、影響は少ないと見込まれている

区 分	利 用 者 負 担 割 合
年金収入等340万円以上	2割から3割に引き上げ(改定)
年金収入等280万円以上	2割
年金収入等280万円未満	1割

### 【自立支援介護に向けた保険者機能強化に関する取組み】(地域包括ケアシステムの強化)

- ◎地域包括支援センターの機能強化
  - ・市町村による評価の義務づけ等
- ◎居宅サービス事業者の指定等に対する自治体(保険者)の強化
  - ・小規模多機能等を普及させる観点からの指定拒否の仕組み等の導入
- ◎生活援助の人材確保の裾野を拡大
  - ・ヘルパー要件の緩和
- ◎認知症施策の推進
  - ・新オレンジプランの基本的な考え方(普及・啓発等の関連施策の総合的な推進)を制度上明確化
- ◎医療・介護の連携の推進等
  - ・新たに介護保険施設として医療と介護の複合的ニ-

ズに対応する「介護医療院」が創設され、現行の介護療養型医療施設(介護療養病床)が、平成30年3月末に廃止(経過措置期間は6年間延長)

・介護医療院は平成30年4月から導入され、日常的な医療サービスが必要な重度の介護者の対応や受け入れ、看取り・ターミナル対応など長期療養のための医療と日常生活の介護サービスを兼ね備えた一体型の施設として位置づけされている。

- ◎地域共生社会の実現に向けた取組の推進等

・新たに「共生サービス」を位置づけ、すでに介護保険サービスを提供している介護事業所が、高齢者と障害児者が同一事業所でサービスを受けやすくすることを目的として基準緩和等の改定。

## 石巻市山下地区<山下地域包括支援センター担当地区>

石巻市の山下地区は人口約 8600 人、市内でも中心部に位置しており、「6 の町内会が集まっている地区」です。当地区の高齢化率は約 32%となっていますが、地域で支え合っていくこと、その中でも特に、「集いの場・居場所づくり」に関しては住民自らの意識が醸成されてきており非常に活発な地区になっています。その背景としては、石巻市はやはり東日本大震災の影響が大きく、その悲しい出来事を経て、当時の支え合いを風化させない事や、仮設住宅をはじめ様々

な場所を基盤に、ボランティアやフォーマル支援者、そこで暮らす住民等、皆でコミュニティづくりを行ってきた事、そしてなによりこれからは、自分たちの地域は自分たちで創っていくという想いが増えてきたからだと感じます。

そんな石巻市の中でも、この山下地区の住民活動は活発で「6 町内会のうち 1 4 の町内で集いの場が生まれています。(2 町内は新年度から開催予定)

### 地域(町内)に合った『多種多様な取り組み』

山下地区の集いの場・居場所,には色々な形があります。町内会が主催で開催しているところ、地域のボランティアを募って開催しているところなど、そのような中でも共通している事は、そこに暮らす住民の声(ニーズ)が大切にされている事です。自分たちの地域にどのような形の集いの場が必要なのか、その協議を地域で行っているため下記のような卒活動の種類の違いが見て取れます。

#### 仲間・生きがいづくり

改めて、長年暮らしてきた地域の中で仲間と出会い、交流し、相談しあう事で日々の生きがいや支え合いの輪を拓けています。

#### 介護予防・健康づくり

市の保健師や介護部門、地域包括等と日常的なやりとりを行いながら、住民自身が地域の、健康づくりや介護予防を推進しています。

#### 孤立・閉じこもりの防止

町内という身近な場所での、交流を増やす事により、孤立感を軽減させています。また住民同士の見守りを意識している場もあります。

#### 安心・安全な暮らし

地域で安心して暮らすために、防災や防犯、詐欺等への備えを定期的に行う集いの場も増えてきています。



### 町内の集いの場づくりから地域の課題解決へ

ここまで見ていただいた山下地区の住民活動(集いの場づくり)ですが、一番大きな特徴として、月に数度、各地区で集いの場を開催しているリーダー達で集まり(山下地区お茶っこ会情報交換会)日々の活動の喜びや、課題を共有していることにあります。

同じ想いを持った人たちが集まり協議することによって、ネットワークが生まれ、自分の町内を超えた活動にも発展していています。この山下地区の多くの町内において集いの場・居場所”が飛躍的に増えてきたのは、住民同士が主体的につながり、自分たちの暮らす地域づくりを進めてきた成果だと思えます。



## 心のこもった【 ぽっかぽかサロン 】 <若林区七郷>

### 立上げと運営

交流サロン「ぽっかぽか」は、震災後に七郷市民センター主催の講座がきっかけで立ち上げました。荒井地区仮設住宅に住んでいる方々を中心に、毎月第2金曜日の10時から12時まで七郷市民センターの2階で開催されています。参加者は毎回40名前後で、訪問した日は39名（内男性は10名）とお揃いの赤いエプロンを着けたボランティア11名でした。

また、七郷地域包括支援センター、市社協の支えあいセンター若林の職員が各2名ずつ視察に見えていました。



ぽっかぽかサロンは代表の庄子義さんはじめ、震災前から地域ボランティア「はなちゃんち」として活動していた西村幸さんを中心にした地域住民の皆さんが会費100円で運営しています。

仮設住宅で開催されていた「パラソル喫茶」で使用していた食器などを譲り受け、その器に地域ボランティアの方々が持ち寄った手作りのお菓子、煮物、漬物などを盛り付け、お茶を飲みながら笑顔で談笑していました。

参加者との会話の中で、仮設住宅に住んでいて遠方に引っ越された方が、ぽっかぽかサロンのことを知り初めて参加した時、懐かしい方に久しぶりに会ってお互いの無事を確認しあったという話を聞き、その時の感動の様子が伝わってきました。

### 笑いを通しての繋がりづくり

活動内容は茶話会、合唱、折り紙、児童館の子どもたちとのふれあい、そして七郷地域包括支援センター主催の研修会で、地区のボランティアや介護施設の職員、各団体等の方々と一緒に教わった楽しいゲーム等を取り入れています。

訪問した日は、雄勝町出身の自身も震災で身内の方を亡くされて、一時中止していた活動を被災各地からの笑いを求める声に応えるように再開し、笑いを通じた人と人の繋がりづくりに尽力されている、ひとり座『おだずもっこ〜ズ』の「あっぺとっぺの助」こと山崎孜さんが「皆の衆」「旅の夜風」「北



国の春」ほか何曲もの歌に合わせて早変わり衣装を変え、方言を取り入れながら聴いている参加者を惹きつける見事な演出、パフォーマンスでした。また、おばあさんに扮装しての昔語り「屁っこき嫁」では会場が大爆笑となり、綾小路きみまろに負けず劣らずの楽しい1時間余でした。ボランティアの方々は、これからも顔馴染みになった地域のみなさんと一緒に笑いながらお茶のみを楽しんでいきたいと話してくれました。



平成29年度評価・調査活動状況

◆福祉サービス第三者評価調査

- ・特別養護老人ホーム一重の里 1月調査・未公表
- \* 公表結果は一人市民委員会宮城ホームページ (<http://www.ichimannin.com>) をご覧下さい。
- ・社会的養護関係施設仙台むつみ荘 11月実施
- \* 公表結果は全国社会福祉協議会ホームページ (<http://www.shakyo-hyouka.net/>) をご覧下さい。

◆介護サービス情報の公表訪問調査

9~3月実施 合計: 792 施設  
介護サービス情報の公表訪問調査を9月から開始しました。

・介護老人福祉施設	:	79	施設
・訪問介護	:	110	施設
・訪問入浴介護	:	19	施設
・福祉用具貸与	:	29	施設
・居宅介護支援	:	163	施設
・介護療養型医療施設	:	4	施設
・特定施設入居者	:	15	施設
・通所介護	:	170	施設
・訪問看護	:	49	施設
・介護老人保健施設	:	23	施設
・通所リハビリテーション	:	32	施設
・訪問リハビリテーション	:	17	施設
・認知症対応型共同生活介護	:	65	施設
・小規模多機能型居宅介護	:	14	施設
・複合型サービス	:	2	施設
・定期巡回・随時訪問介護看護	:	1	施設

\* 公表結果は、<http://www.kaigokensaku.jp/> をご覧ください。

◆地域密着型サービス評価調査

- 合計: 133 施設
- ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 133 施設

\* 自己評価及び外部評価結果はワムネット、  
<http://www.wam.go.jp/> をご覧ください。

フォローアップ研修会模様

平成30年2月16日(金) TKPガーデンシティ仙台勾当台において、宮城県社会福祉協議会主催の平成29年度宮城県福祉サービス第三者評価調査者継続研修が開催され、当会からは第三者評価調査者10名が受講しました。

\*\*\* 理事会模様 \*\*\*

◆平成29年度 第5回理事会

- ★平成30年1月23日(火)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第5回理事会が開催されました
- 主な活動報告、審議事項は次のとおり
- 1) 拡大三役会議の報告について
- 2) 調査、評価活動について
- 3) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
- 4) 広報、財政、組織、総務関係について
- 5) 地域包括ケア体制の推進について
- 6) 高齢者元気プラン推進委員会について
- 7) その他

◆平成29年度 第5回理事会

- ★平成30年3月29日(木)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第5回理事会が開催されました
  - 主な活動報告、審議事項は次のとおり
  - 1) 第17回通常総会開催について
  - 2) 調査、評価活動について
  - 3) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
  - 4) 広報、財政、組織、総務関係について
  - 5) 地域包括ケア体制の推進について
  - 6) その他
- (※詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います)

通常総会のご案内

第17回通常総会を下記のとおり開催します

総会に先立ち東北こども福祉専門学院副院長大坂純氏の「地域包括ケアシステムや地域支え合い・生活支援に係るNPOの役割」(仮題) についての講演会を予定しています

と き : 平成30年5月29日(火)13時~  
と ころ : 仙台市生涯学習支援センター 5階  
第2セミナー室 (旧 仙台市中央市民センター)  
問合先 : 一人市民委員会宮城県民の会事務局  
電話:022-293-8158

## フォローアップ研修会模様

平成30年3月28日(水)仙台市生涯学習支援センター(旧中央市民センター)第2セミナー室において第3回情報の公表フォローアップ研修会が開催され、①調査員の報告書説明②通所介護事業所の調査結果報告③グループワーク(調査時の感想、経験、検討課題、調査員間コミュニケーション、接遇、事務局の検討課題などについて自由討議)④連絡事項⑤その他 についての研修が行われました。



## 地域密着型サービス外部評価委員会模様

◆評価委員5名に担当調査員を交え、毎週金曜日午前2事業所、午後2～3事業所の審議を行っています。委員会では、事業所から提出された書類(自己調査書・意見書・目標達成計画書・家族アンケート)と評価調査員から提出された評価報告書について審議を行い、事業所にその審議内容をフィードバックし、評価結果の同意を得て、独立行政法人福祉医療機構が運営するWAMNET※(ワムネット)に評



### ◆よろず相談会◆のご案内

平成30年4月から平成30年7月までの開催日程は次のとおりです

☆開催日程(30年4月～30年7月)

- ❖4月18日(水) 相談役 武田貴志 弁護士
- ❖5月15日(火) 相談役 安田廣治 司法書士
- ❖6月19日(火) 相談役 武田貴志 弁護士
- ❖7月19日(木) 相談役 安田廣治 司法書士

価結果を公表しています。

取材当日(3月9日)は午前午後を通して5事業所の審議が活発に行われていました。

サービスの質の維持・向上に向けて

◆当会は、利用者・家族及び事業所から信頼される評価機関として、公正・中立な立場で客観的な評価に努め、事業所が最終目標としている①利用者及び家族の安心と満足を図ること②ケアサービスの水準を一定以上に維持すること③改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発的努力と体制づくりを促すこと④継続的に評価を行うことを通じて、関係者による自発的な研修等によるケアの向上を促す教育的効果をねらうこと⑤地域密着型サービスに対する社会的信頼を高めることを達成できるよう支援します。

※<http://www.wam.go.jp/>

ある日のこと、母が「同級生から携帯に電話がかかってきたんだけど思い出せないのよ」といいました。その時はあまり気にもと



『ある日のこと』  
会 員 穴 戸 恵 美 子

めませんでした。「今日もかかってきたの」と言う。

私よりもしっかり者の母なのに、いよいよ認知気味になったのかしらと思いました。けれど、今思えばそんな昔の友達が、母の携帯番号がわかるはずがないのに・・・その時は気づきませんでした。

4回目の電話がかかってきた時、ちょうど私が家におりましたので、すぐ母と代わりました。「申し訳ありません。母は覚えていないようですが・・・」と言うと、「覚えていないの？私は白石の豆腐屋の娘で、私のことをいろいろ近所についてあるいたでしょ！」と語気を強めていってきました。母は白石に住んだことがありませんし、話の内容が変になってきたので、何とかしなくてはとの思いで「母を連れて会いに行きたいので場所を教えてください」というと、「ここは施設なんだから何処かわからない」という。ああ～やっぱりと思った。

電話を切られたら困ると思い、怒らせないように子供に言い聞かせるように「電話を持ったまま廊下に出て施設の方と代わってください」と頼みました。

「施設の方はみんな忙しいから！」と怒りながらも運よく代わってもらえました。

今までの経緯、その他に母と同じように迷惑をかけた方がいるかもしれないことを話し、施設・家族をまじえて携帯を持たせることについて、話し合いを持つようお願いをしました。その二日後、施設から連絡があり話し合いの結果、携帯を持たせないことにしました。という返事でした。

無作為にかけた番号がたまたま年格好も同じだったために、こういうことになったのですが、相手にとって良かったのか悪かったのか・・・と今も思っています。

その後、パソコンで調べたらその施設はグループホームでした。

【編集後記】

桜の季節を迎え、すっかり春本番となりました。

4月はピカピカの1年生が至るUJONで誕生し、人生の節目の時期であります。

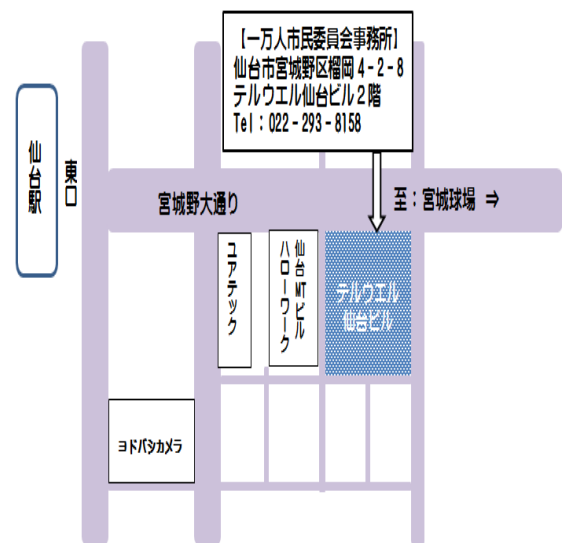
思い起こせば、入学、就職と新しいスタートに向けて、希望に夢を膨らませ張り切っていた時期が皆さんにもあったと思います。

さて、私も編集委員としてホヤホヤの1年生です。紙面作りは簡単なようで非常に難しく悩むこと多いです。今回は、平成30年度介護保険制度改定と東日本大震災で大津波の被害を受け、復興が着実に進んでいる石巻市山下地域包括支援センター担当地区の福祉活動を取り上げました。

これからも、少しでも読んで良かったと感じてもらえる紙面作りには、創意工夫しながら挑戦してまいります。

~~~~~ お楽しみに~~~~~

大坪



特定非営利活動法人  
介護の社会化を進める  
市民委員会 一万入市民委員会宮城県民の会  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階  
Tel:022-293-8158 Fax:022-293-8230  
ホームページ:http://www.ichimannin.com  
Email:ichimannin@alpha.ocn.ne.jp

編集委員 荒井 勝子 阿部 洋子 大坪 俊男 兼平 幸雄  
栗原 節子 團 順子 前田 泰子